

# 令和4年2月 東御市教育委員会 定例会会議録

---

## 1 日 時

---

令和4年(2022年)2月22日(木) 午後1時30分から午後2時30分まで

## 2 場 所

---

中央公民館 学習室5

## 3 議 題

---

(1)協議(審議・検討)

議案第5号 学区外就学の認定について

(2)不登校対応について

(3)学校 ICT 教育について

(4)報告

ア 新型コロナウイルス感染等予防対策について

イ 教育課

(ア)いじめの状況等について

(イ)進路状況(小6)について

(ウ)児童クラブの申込み状況等について

(エ)力士雷電之碑の一部移設について

ウ 生涯学習課

(ア)生涯学習講座等の作品展示について



## 会議録

---

坂口教育次長

ただいまから、2月度定例教育委員会を始めます。

教育長から開会宣告とあいさつをお願いします。

小山教育長

2月度定例教育委員会を開会します。

お忙しい中お集まりを頂きまして有り難うございます。本日は、この後 15 時半から、「第 2 回総合教育会議」が計画されておりますので宜しくお願い致します。

さて、2月7日(月)から1週間程、校長先生や教頭先生、学校によっては不応援員や心の教室相談員の先生方にもご参加を頂いて、本年度 5 回目の「不登校支援懇談会」をオンラインで実施致しました。各校の報告からは、課題解決に取り組む先生方の粘り強い頑張りが感じられ、不登校対策元年と銘打った重点施策が周知されて来たのではないかと考えております。

定例教育委員会でもお伝えしてまいりましたように、不登校としてカウントされる 30 日を超えてしまっていた児童生徒が本年度も継続していたり、欠席がちな児童生徒が本年度になって 30 日を超えてしまったりなど、本市の不登校児童生徒は中学校・小学校共に少しずつ増える傾向にあります。なかには、30 日は超えておりますが昨年度に比べ欠席日数を減らすことができたり、部分的な登校に繋げることができたりといった児童生徒も出て来ております。

これまで、家庭の養育力不足や発達特性などの本人課題、欠席が蓄むことによる学力不振や集団不応援などが複合的に絡み、不登校の主な原因という捉え方をしてきましたが、長引くコロナ禍の中で、新たな課題も見えてきました。

国立成育医療研究センターの調査では、スマホやゲームといったデジタル機器への依存度が高まりつつあるようですが、マスク越しのコミュニケーションのため表情や声が捉え難く、視覚過敏や聴覚疲労でストレスを抱えていること、行事等の簡素化や中止により集団活動から学ぶ力や困難さを乗り越える力が減少していることが報告されており、社会の急激な変化や学びの環境の変化が抵抗力の弱い子ども達に影を落としており、不登校や不登校傾向の原因の一つに加わっているのではないかと考えております。

本年度、「子ども・家庭支援準備室」を立ち上げ、学校や教育委員会、社会福祉協議会やSSW(スクールソーシャルワーカー)、SC(スクールカウンセラー)といった関係者との連携の下に、様々な課題に向き合ってきましたが、「うえだこどもシネマクラブに行くことができた」「公民館の子ども講座に参加できた」「大学生ボランティアと関わる事ができた」「放課後登校が続くようになった」といった事例のように、即、通常登校とはいきませんが、家庭や児童生徒との関係作りができはじめ、支援の在り方や改善の方向も見えて参り

ました。

時間は想像以上に掛かりますが、次年度の「子どもサポートセンター」への足掛かりができて来ているものと受け止めております。

本日は宜しくお願い致します。

小山教育長

(1)協議(審議・検討)事項をお諮りします。

議案第5号 学区外就学の認定につきましては、特別な事情による申請として個人情報に関係もありますので、非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、本件に関しましては非公開と致します。

小山教育長

(2)不登校対応につきましては、個人情報の関係もありますので、内容は非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、本件の内容に関しましては非公開と致します。

小林委員

前回の定例教育委員会をお願いしておいた完全欠席者の抽出、ありがとうございました。この数値が、本来の「不登校者」の数になるのではないかと思います。同年同時期で比較してみると、現場において努力していただいているものと感じられます。

小山教育長

続きまして、(3)学校 ICT 教育について説明を求めます。

山口指導主事

不登校及び不登校傾向の児童生徒に対して、タブレットを使用した対応事例について、各学校から集約した内容を紹介します。不登校対応事例以外でも、オンライン会議により児童会活動を通じたごみ拾い登校の呼びかけや、コロナの濃厚接触者のため登校できなかった生徒に対する活用事例等の実績も残っています。

小山教育長

こうして、ICTに係る一年間の成果が報告できる形になり、今後も定着する段階を迎えています。基本的には教科書を主として使用する形ではありますが、タブレットの併用により興味を持ちながら本質に近づくことが考えられます。コロナにより活用の幅も広がっており、不登校問題への活用を含め、更なるプラス効果を見出していけたらと思います。

小山教育長

続きまして、(4)報告に移ります。順次報告・説明願います。

山邊教育課長

ア 新型コロナウイルス感染症に関する市内中学校での発生状況と予防対策について報告します。(説明内容等 非公開)

小山教育長

何とか収まって欲しいと期待しております。学校や保育園でもそれ以降の支障もなく、このまま平穏無事に授業が再開できることを望みます。また、陽性者や濃厚接触者、学級閉鎖による授業の遅れが生じないよう、しっかりしたフォローを学校にお願いしたところです。

五十嵐委員

小中学校では感染者が出ており、児童生徒は、当事者として不安を感じたり行きづらいくともあるかと思いますが、その後のフォローは学校でしてくれるのでしょうか。

山邊教育課長

先生方には、健康観察や状況の把握をお願いするとともに、児童生徒の皆さんに学習の保障をし、クラス内での人権への配慮等を踏まえた対応をいただくことになっています。

小山教育長

コロナ禍における卒業式と、それに準じる入学式に関してですが、本日再確認を致しました。時間短縮・マスク着用・感染防止対策のもと、その時点における感染レベルを確認・注視しながら行うことと致します。また、昨日行われた県教委とのオンライン会議では、今まで保健所により行われていた濃厚接触者のチェック対応に関して、これからは学校内で行う

こと、先生方への依頼により負担が増える、ということでした。

小山教育長

続きまして、イ 教育課の報告事項について報告願います。

畑田指導主事

(ア)いじめの状況等について報告します。(説明内容等 非公開)

山口指導主事

(イ)進路状況(小6)について報告します。(説明内容等 非公開)

増田青少年教育係長

(ウ)児童クラブの申し込み状況等について報告します。

この度、1月に締め切った市内5箇所の児童クラブごとの新年度申し込み状況がまとまりましたので、お知らせします。令和4年度の申込者数は258名で、前年に比べ31名の減になりました。今回、初めての減少になります。コロナ禍にあつて、外での集団活動を控え自宅での活動にシフトしている家庭が増えているのではないかと推察されます。実施する場所に関しては、各クラブの申込み数に応じて適切に対応してまいります。

この24日には、書類審査を経て通所決定通知を発送する予定です。まん延防止措置が延期されたのに伴い、入所前に行うオリエンテーションの日程は当面延期としますが、4月からの新年度の受け入れに支障がないように万全の対応をしてまいります。

小山教育長

和の新児童館の、今後の見込みはどんなですか。

増田青少年教育係長

新児童館は、7月1日の開所を予定しています。

小山教育長

申込者が減っている傾向をどう捉えていますか。

増田青少年教育係長

一概には申し上げられませんが、コロナの影響も一因として考えられると思います。

山邊教育課長

(エ)力士雷電之碑の一部移設について報告します。

長野県出身の御嶽海関の1月場所優勝と大関昇進に伴い、雷電に関する問い合わせが日増しに多くなっています。これを機に、天下無双の郷土力士・雷電の偉業を広く周知し後世に継承するため、牧家交差点付近に新旧二つある佐久間象山の書による「力士雷電之碑」のうち、西向きの古い碑を雷電生家に移設を考えているものです。

今回は、クラウドファンディングを活用する予定で、4月に募集を行う予定です。

小山教育長

続きまして、ウ 生涯学習課の報告事項について報告願います。

正村社会教育・公民館係長

(ア)生涯学習講座等の作品展示について報告します。

前回の定例会以降にまん延防止期間が延長となったため、各種作品展は中止とさせていただきます。ただし、一部の講座によっては、独自に中央公民館ロビーでの展示を模索しているところもあるようです。

小山教育長

本日の議題は以上です。

それでは、2月度定例教育委員会を閉会します。